

I 第10週の発生動向 (2016/3/7~2016/3/13)

- インフルエンザについては、弘前保健所管内で**注意報**が発令されました。
 なお、八戸保健所、東地方+青森市保健所、むつ保健所管内では**警報**が、上十三保健所管内では**注意報**が続いています。
- 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で第7週から**注意報**が継続しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、患者報告数が前週の67人から89人に増加しました。

II 第10週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	260	20.00	158	10.53	201	13.40	50	7.14	160	17.78	219	36.50	1048	16.12	50
RSウイルス感染症			1	0.11	1	0.10			1	0.17			3	0.07	-1
咽頭結膜熱	2	0.25			8	0.80			1	0.17			11	0.26	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	2.00	11	1.22	43	4.30	5	1.00	9	1.50	5	1.25	89	2.12	22
感染性胃腸炎	38	4.75	18	2.00	32	3.20	3	0.60	24	4.00	15	3.75	130	3.10	-8
水痘	1	0.13									1	0.25	2	0.05	-2
手足口病			1	0.11									1	0.02	0
伝染性紅斑	10	1.25							1	0.17	5	1.25	16	0.38	14
突発性発しん	2	0.25	2	0.22	4	0.40			3	0.50			11	0.26	-11
百日咳															0
ヘルパンギーナ															-1
流行性耳下腺炎	34	4.25	1	0.11	1	0.10							36	0.86	7
眼科															0
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎					7	3.50							7	0.64	5
基幹															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎											5	5.00	5	0.83	2
無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.00							1	0.17	1

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸2人 (2016年計:48人)
- クリプトスポリジウム症(五類全数把握疾患)：上十三1人 (2016年計:1人)
- 侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患)：弘前1人 (2016年計:2人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (五類定点把握疾患)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群レンサ球菌による上気道感染症です。学童期の小児に最も多く、冬季及び春から初夏にかけて報告数のピークが認められます。

本疾患は2日~5日の潜伏期の後、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。軟口蓋の小点状出血あるいは莓舌がみられることがあります。

昨年の全国の定点あたり報告数の推移をみると、第10、11週(3月前半)、第17週(4月下旬)及び第20~25週(5月中旬~6月中旬)にピークを示しました。最近では、年末の第51週(12月中旬)及び第5週(2月上旬)にピークを示しました。青森県でも全国と同様の傾向が見られ、数値は全国を下回っていましたが、今後の発生動向に注意が必要です(図1)。

青森県における年齢別患者報告数をみると、4歳及び5歳をピークとする10歳未満が大半(85.1%)でした(図2)。

予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行しましょう。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP



図1: 定点あたり報告数の推移(2015年第1週~2016年第9週)

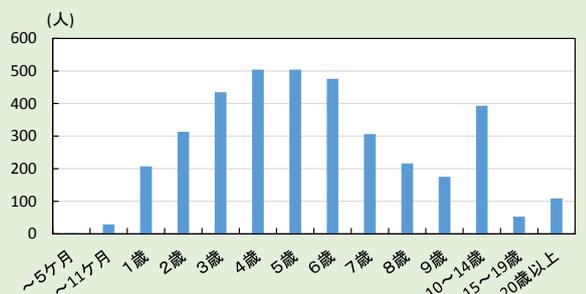


図2: 青森県における年齢別患者報告数(2015年第1週~2016年第9週)

V 県内インフルエンザ情報 (2015年第47週～2016年第10週)

第10週の患者報告数は1048人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1026人【A型：445人、B型：581人】でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点
 (※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
東地方				2					4	2	7	5	6	7	5	2	2
弘前		1			1	8	9	32	62	194	195	212	222	130	123	137	158
八戸						2	3	37	217	396	490	399	310	190	205	167	201
五所川原							6	14	38	84	84	125	163	119	104	52	50
上十三	1			1			1	16	35	89	178	232	264	251	236	215	160
むつ					2	11	2	6	24	40	86	159	197	241	184	175	219
青森市				1	5	23	14	37	83	264	328	455	481	282	241	250	258
合計	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368	1587	1643	1220	1098	998	1048

A型 (迅速診断キットによる型別です) (人)

週	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
東地方				1					4	2	7	5	6	6	1	1	1
弘前		1			1	8	9	32	61	193	194	208	218	124	103	90	64
八戸						2	3	34	215	377	467	354	282	168	181	128	119
五所川原							6	14	37	84	82	125	160	117	92	39	10
上十三	1			1			1	14	34	80	159	202	208	211	149	143	85
むつ					2	11	2	6	22	36	60	98	144	163	122	104	110
青森市				1	5	23	12	37	82	252	307	422	453	236	165	98	56
合計	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276	1414	1471	1025	813	603	445

B型 (迅速診断キットによる型別です) (人)

週	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
東地方				1										1	3		1
弘前									1	1	1	4	4	6	20	47	94
八戸								3		6	10	10	10	8	15	32	80
五所川原											2		3	2	12	13	40
上十三								2	1	8	16	22	46	26	74	53	66
むつ									2	4	26	61	53	78	62	71	109
青森市							2		1	6	9	11	16	38	67	138	191
合計	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64	108	132	159	253	354	581

年齢区分別(人)

週	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
～5ヶ月										3	3	5	7	7	3	2	6
～11ヶ月								4	7	13	12	26	35	18	16	16	11
1歳						1	2	5	23	47	77	82	75	64	46	53	46
2歳						1	4	3	16	47	65	89	78	58	45	48	44
3歳						1	1	1	17	50	73	90	80	53	58	34	42
4歳							1	8	25	63	116	94	94	76	74	71	64
5歳						1	2	5	23	76	122	89	111	95	82	74	63
6歳						1	1	3	29	70	96	107	101	64	67	67	54
7歳				1	2	6	1		13	72	72	103	101	71	55	62	57
8歳						4	1	3	14	66	55	87	54	57	62	43	47
9歳					1	3		2	7	58	64	79	59	54	50	38	35
10～14歳				2		4	1	4	29	99	145	220	201	154	139	137	211
15～19歳				1	4	11	3	9	18	42	51	64	68	28	32	33	54
20～29歳						1	2	10	35	39	48	57	78	52	41	46	49
30～39歳	1					3	6	20	47	68	95	105	157	100	82	70	68
40～49歳					1	4	3	18	60	92	103	104	116	84	74	66	66
50～59歳						2	2	22	45	65	71	87	91	76	72	55	47
60～69歳						1	3	18	32	58	61	57	80	69	37	52	51
70～79歳		1					1	5	14	27	26	27	33	27	42	20	18
80歳以上							1	2	9	14	13	15	24	13	21	11	15

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第53週～2016年第10週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	デング熱1人	E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 梅毒1人			
7	H28.2.15 ~ H28.2.21				E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染 症1人		カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			
9	H28.2.29 ~ H28.3.6			梅毒1人			
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		侵襲性肺炎球菌感染 症1人			クリプトスポリジウム症 1人	

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第53週～2016年第10週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1		1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	5	1			
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	1				1	1
7	H28.2.15 ~ H28.2.21	2		1	1		
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	1	1	2		1	
9	H28.2.29 ~ H28.3.6		1	1	1	1	
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		1	2			

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注: 発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第9週累計)

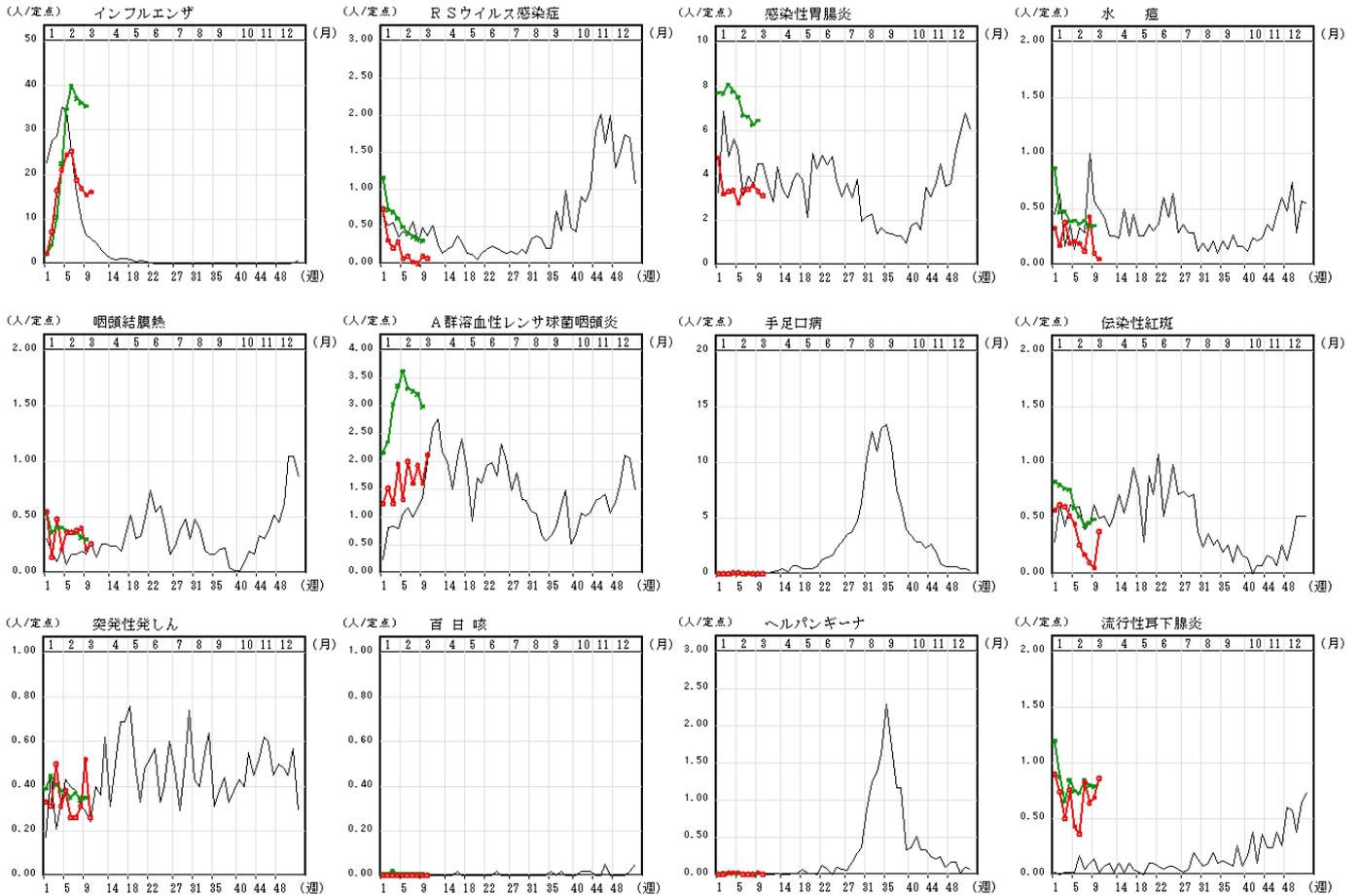
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つがひ虫病	デング熱	日本紅斑熱	マリア	レジオネラ症	レブスピア症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	
累積報告数	3602	30	120	8	2	73	50	3	1	1	2	1	34	44	3	3	192	3	206	42	241	219	1	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性ノロウイルス感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	パノミオン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
累積報告数	38	98	234	9	54	9	557	42	581	21	11	5	16	2	6									

青森県 (2016年第1週～第10週累計)

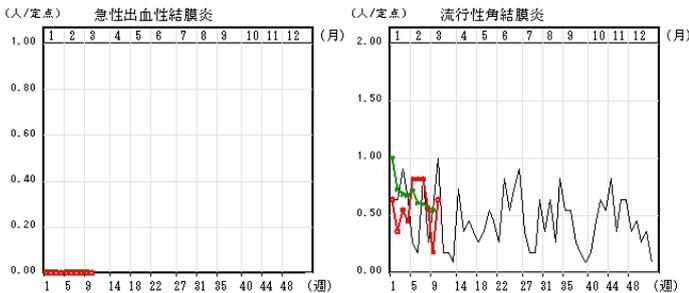
分類	二類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	48	4	1	1	1	7	1	1	1	2	1	2

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第10週、但し全国は前週)

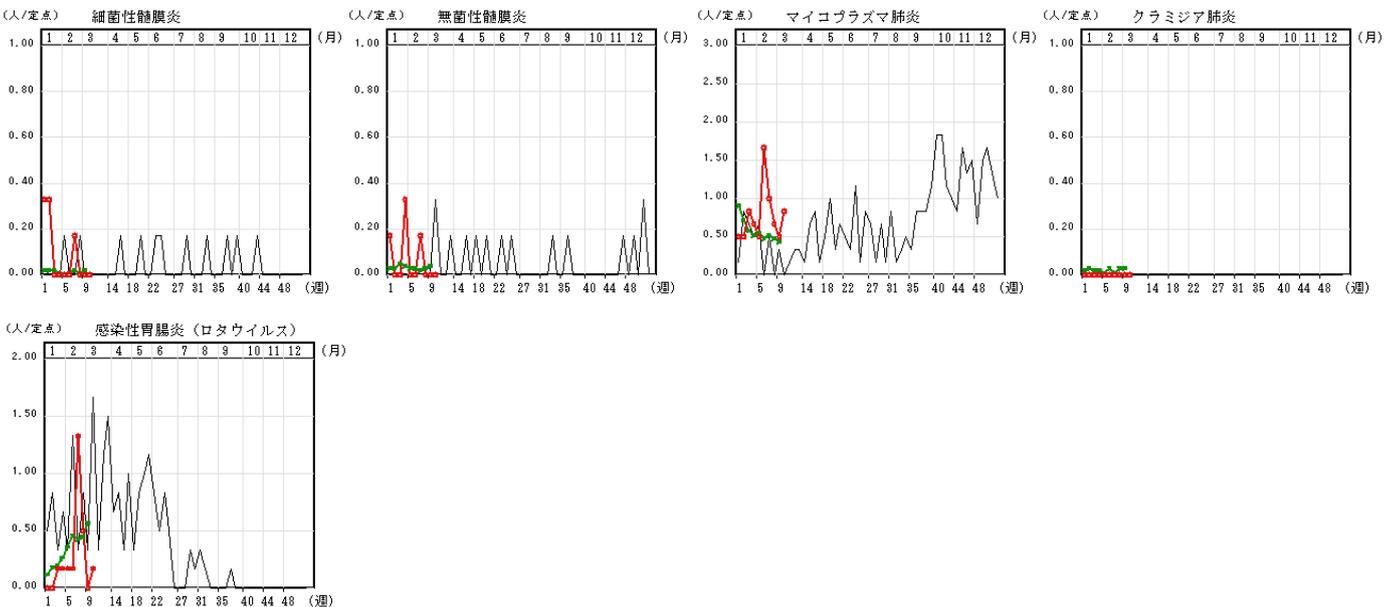
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第10週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第10週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第10週は報告がありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月		3月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9週	10週			
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	0	0			3
	発症者数	0	84	0	0			84
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0			2
	発症者数	0	26	0	0			26
障害関係施設	件数	0	0	0	0			0
	発症者数	0	0	0	0			0
その他施設	件数	0	0	0	0			0
	発症者数	0	0	0	0			0
計(月別)	件数	0	5	0	0			5
	発症者数	0	110	0	0			110